

# 令和5年度 スマートシティ実装化支援事業 概要

---

国土交通省 都市局  
都市政策課 デジタル情報活用推進室  
令和5年8月

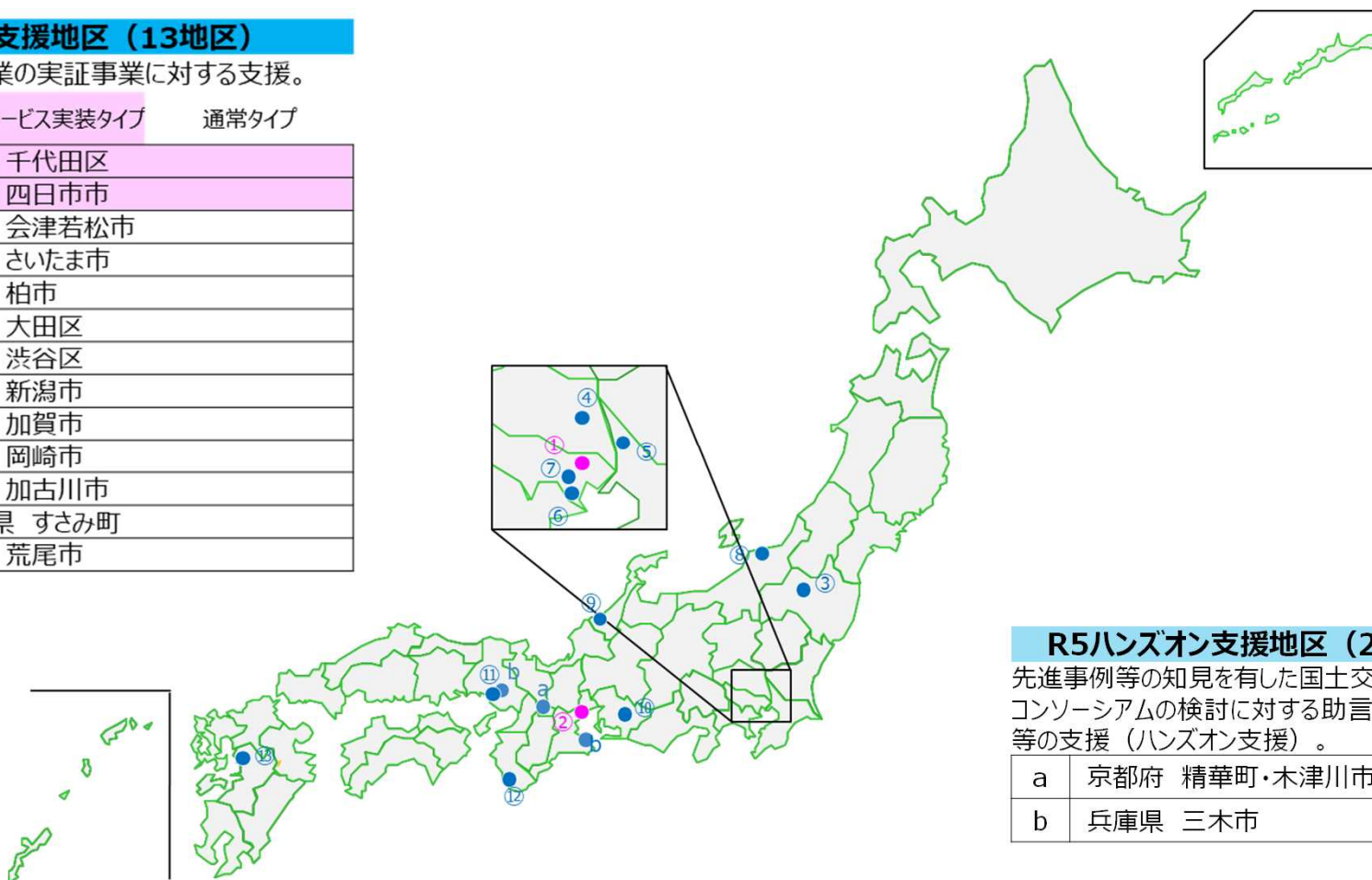
- **令和3年度より**、関係省庁のスマートシティ関連事業の連携を強化し、事業推進を図るために、**合同公募**及び**内閣府（科技）が合同審査会を設置、評価**。
- 令和5年度は、合同公募（4月～5月）を実施し、合同審査会（6月）において評価を実施。全15地区の応募のうち、**13地区を選定**。その他2地区をハンズオン支援選定。
- 令和5年度に創設した「都市サービス実装タイプ」は全3地区の応募のうち2地区を採択。

## R5支援地区（13地区）

先駆的な事業の実証事業に対する支援。

【凡例】都市サービス実装タイプ      通常タイプ

①	東京都 千代田区
②	三重県 四日市市
③	福島県 会津若松市
④	埼玉県 さいたま市
⑤	千葉県 柏市
⑥	東京都 大田区
⑦	東京都 渋谷区
⑧	新潟県 新潟市
⑨	石川県 加賀市
⑩	愛知県 岡崎市
⑪	兵庫県 加古川市
⑫	和歌山県 すさみ町
⑬	熊本県 荒尾市



## R5ハンズオン支援地区（2地区）

先進事例等の知見を有した国土交通省職員がコンソーシアムの検討に対する助言や情報提供等の支援（ハンズオン支援）。

a	京都府 精華町・木津川市
b	兵庫県 三木市

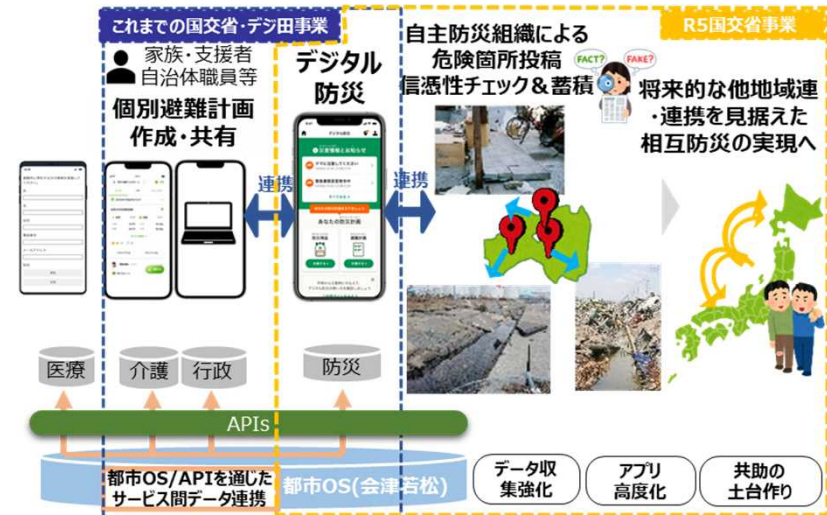
支援地区名	実証事業概要
東京都千代田区 (大丸有地区)	分野横断的、官民領域やデジタル・リアルを横断した高度化された総合的なサービスを、ワーカー・来街者に対して提供。公的空間を含めたエリアのモニタリングシステムを構築しエリアマネジメントの可視化を実施。
三重県四日市市	中央通り再編やバスタ整備という新たな都市軸の整備を契機として、ウォークアブルな中心市街地の実現。新たな交流や価値の創出に向けた実証を実施。
福島県会津若松市	デジタル防災アプリの災害時における危険箇所の投稿権限の範囲選定・拡張をすることで、住民の安全な避難支援および個別避難計画策定（避難ルート作成）の効率化を実施。
埼玉県さいたま市	モビリティから取得したGPSデータ等を活用し、シェアモビリティの市全域へのエリア拡張と、ステーション配置の最適化を推進。

大丸有 事業概念図



引用：R5年度 大丸有地区 スマートシティ実装化支援事業公募資料

会津若松市 実証事業概要

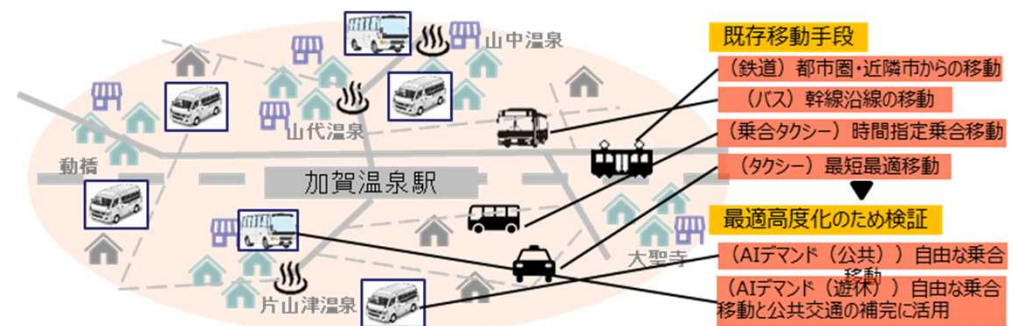


引用：R5年度 会津若松市 スマートシティ実装化支援事業公募資料

支援地区名	実証事業概要
千葉県柏市	街のサービスと病院情報システムを連携により、患者の受付待ち時間を軽減するとともに周辺施設の活用を促進。
東京都大田区 (羽田)	LiDARインフラや空間情報を活用し、ロボット走行の安定性向上や施設管理業務の高度化検証を実施。
東京都渋谷区	来街者の嗜好や行動遷移を元にイベント企画及び来街者をスポットへ誘導する情報発信ツールを制作。
新潟県新潟市	スマホアプリを活用し、まちなかにおける行動データを取得。賑わいスポット創出施策の有無による行動変容や波及効果を分析・モデル化し、回遊シミュレーションツールに反映。
石川県加賀市	既存移動手段と遊休車両活用のデマンドを組み合わせた移動モデルの効果を検証。



引用：R5年度 渋谷区 スマートシティ実装化支援事業公募資料



引用：R5年度 加賀市 スマートシティ実装化支援事業公募資料

